

さようなら原発

in いしのまき

すべてのおとなが
すべてをのりこえ

こどもたちを
まもれますように。

今、私たちに
できることは何？



3/25 (日)

AM10:00-PM4:30

石巻中央公民館大ホール

(場所は裏の地図を御覧下さい。駐車場・午後のみ託児室有り)

午前の部 AM10:00-PM12:30 出店・音楽会 (入場無料)

写真展「女川原発の周辺沿岸部の津波被害を通してフクシマ原発による放射能災害を考える」、被災者支援リサイクルバザー、おにぎり・汁物コーナー／おからドーナツコーナー(材料費相当分)、手作り帽子のお店、江戸ゴマ等のこどもの遊び場コーナー、『つくってみませんか?なべ帽子』コーナー等盛り沢山。音楽会の出演者は、「ラッキー・ドラゴン」等の名曲で知られるシンガー・ソング・ライターの苦米地サトロさんと、地元のシンガー・ソング・ライター渋谷修治さん、手廻しオルガンの石川明さん、RYO-SAKUさん、ボンズさん等。

午後の部 PM1:00-PM4:30 講演会 (講演会チケット代 500円)

講師は、後藤政志さんと振津かつみさん！ 後藤さん(芝浦工大非常勤講師)は、女川原発3号機などの設計をした元・原子炉格納容器設計技師。振津さん(兵庫医科大学非常勤講師)は、「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」を設立し、20年間に渡ってベラルーシ共和国の放射能汚染地帯の人々と交流を続けながら、現地の病院・学校・幼稚園等の支援をされてきた、元内科医師。(お二人の詳しい紹介は裏面)

講演会チケットの
お申込みはこちら！

お問い合わせ・講演会チケット予約先

(さようなら**原発** in いしのまき 実行委員会)

お問合せ先：日下 〒986-0832 石巻市泉町1-2-5 TEL/FAX 0225-22-0508

E-Mail: kusakaikuo@yahoo.co.jp

演題と 講師略歴

午後の部 PM1:00-PM4:30 講演会 (講演会チケット代 500円)

「原発をつくったから言えること」

後藤政志 (ごとうまさし) さん

元東芝・原子炉格納容器設計者。広島大学船舶工学科卒業。三井海洋開発(株)で海洋構造物(石油掘削リグ)設計に携わる。1989年東芝に入社、2002年までに東京電力柏崎刈羽原子力発電所の3号機、6号機、中部電力浜岡原子力発電所の3号機、4号機、**東北電力女川原子力発電所の3号機**の設計に携わる。現在、芝浦工業大学非常勤講師。フクシマ原発事故後の去年5月、参議院行政監視委員会に参考人として招かれ、小出裕章さん、石橋克彦さん、孫正義さんとともに意見を述べる。

著書：『原発をつくったから言えること』(クレヨンハウスブックス)、

『原発を終わらせる』(共著、岩波新書)など。

「チェルノブイリから改めて学び、その教訓をフクシマで活かす」

振津かつみ (ふりつかつみ) さん

1959年兵庫県生まれ。臨床内科医として大阪在住の原爆被爆者の健康管理に携わる。05年に大阪大学大学院医学系研究科博士課程を修了、現在、兵庫医科大学非常勤講師(遺伝学・放射線基礎医学)。

「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」を設立し、20年間に渡ってベラルーシ共和国の放射能汚染地帯の人々と交流しながら、現地の病院・幼稚園・学校等の支援をつづけてきた。

32カ国、155団体加盟の国際NGO「ウラン兵器禁止を求める国際連合」(ICBUW) 運営委員を務め、世界の核被害者(ヒバクシャ)との連帯、支援を呼びかけている。

共著書：『ウラン兵器なき世界をめざして——ICBUWの挑戦』(合同出版)。

さようなら原発 in 石巻 呼びかけ人：荒井まり子(大崎市古川)、伊藤由子(加美町)、及川仁(登米市中田町)、小野寺俊朗(気仙沼市)、木村正幸(石巻市)、木村裕一(石巻市)、日下郁郎(石巻市)、近藤武文(石巻市)、斉藤みや子(石巻市)、佐藤清吾(石巻市北上町)、嶋村幸二(登米市東和町)、菅原晃悦(仙台市)、蘇武加持善(石巻市)、千葉真良(石巻市)、土屋聡(大崎市松山町)、松田美宏(栗原市一迫)

